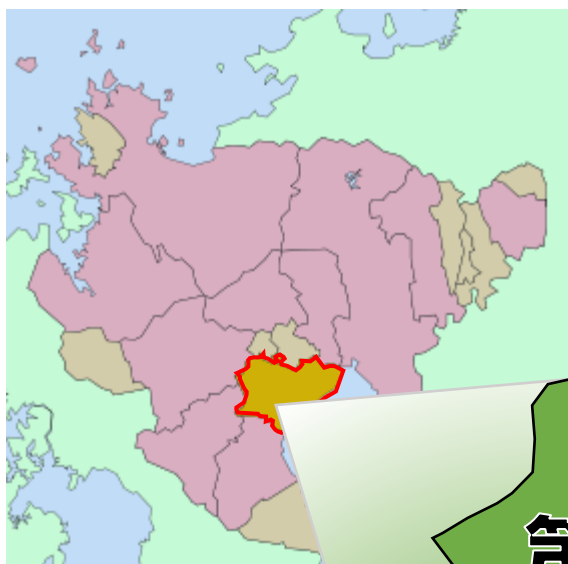
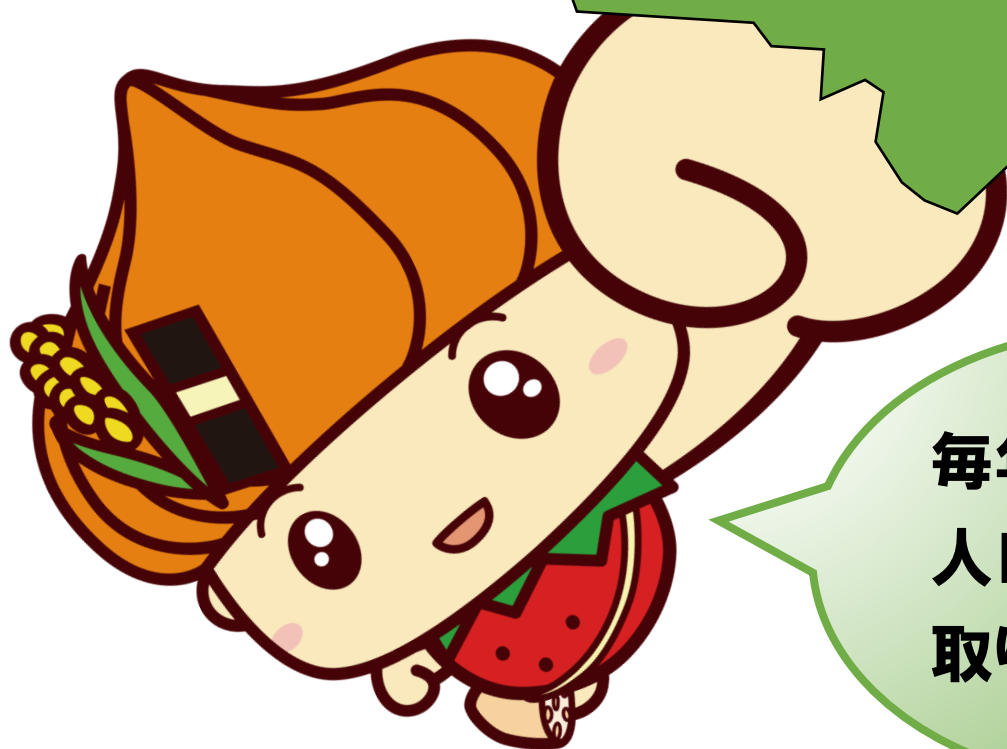




第3期 白石町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略



毎年 100 人
人口減少を
取り戻そう！！

令和 7 年 3 月
佐賀県白石町

目次

I はじめに	1
1 趣旨	1
2 総合戦略の計画期間	2
3 総合戦略の検証・改善・改訂	2
4 総合戦略の体系図	3
II 第2期の検証結果・評価及び第3期での改善点等	4
基本目標①	4
基本目標②	5
基本目標③	6
基本目標④	8
III 第3期の基本目標、基本的方向、具体的な施策	9
基本目標①	10
白石に仕事をつくる	
(1)目指すSDGs	
(2)数値目標	
(3)現状と課題	
(4)めざすべき方向	
(5)具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)	
1 企業誘致や起業等による雇用の確保	
2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保	
3 新しいことへ挑戦する人への積極支援	
4 ふるさとで活躍する人材の育成	
基本目標②	15
ひとの流れをつくる	
(1)目指すSDGs	
(2)数値目標	
(3)現状と課題	
(4)めざすべき方向	
(5)具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)	
1 白石町の魅力発信	
2 定住促進、移住支援	
3 地域観光資源の再発見	

基本目標③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 目指すSDGs
- (2) 数値目標
- (3) 現状と課題
- (4) めざすべき方向
- (5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)
 - 1 結婚推進対策の充実
 - 2 出産支援
 - 3 子育て支援
 - 4 教育環境の整備

基本目標④・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

魅力的な地域をつくる

- (1) 目指すSDGs
- (2) 数値目標
- (3) 現状と課題
- (4) めざすべき方向
- (5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)
 - 1 町民協働によるまちづくり
 - 2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり
 - 3 誰もが活躍できるまちづくり

I はじめに

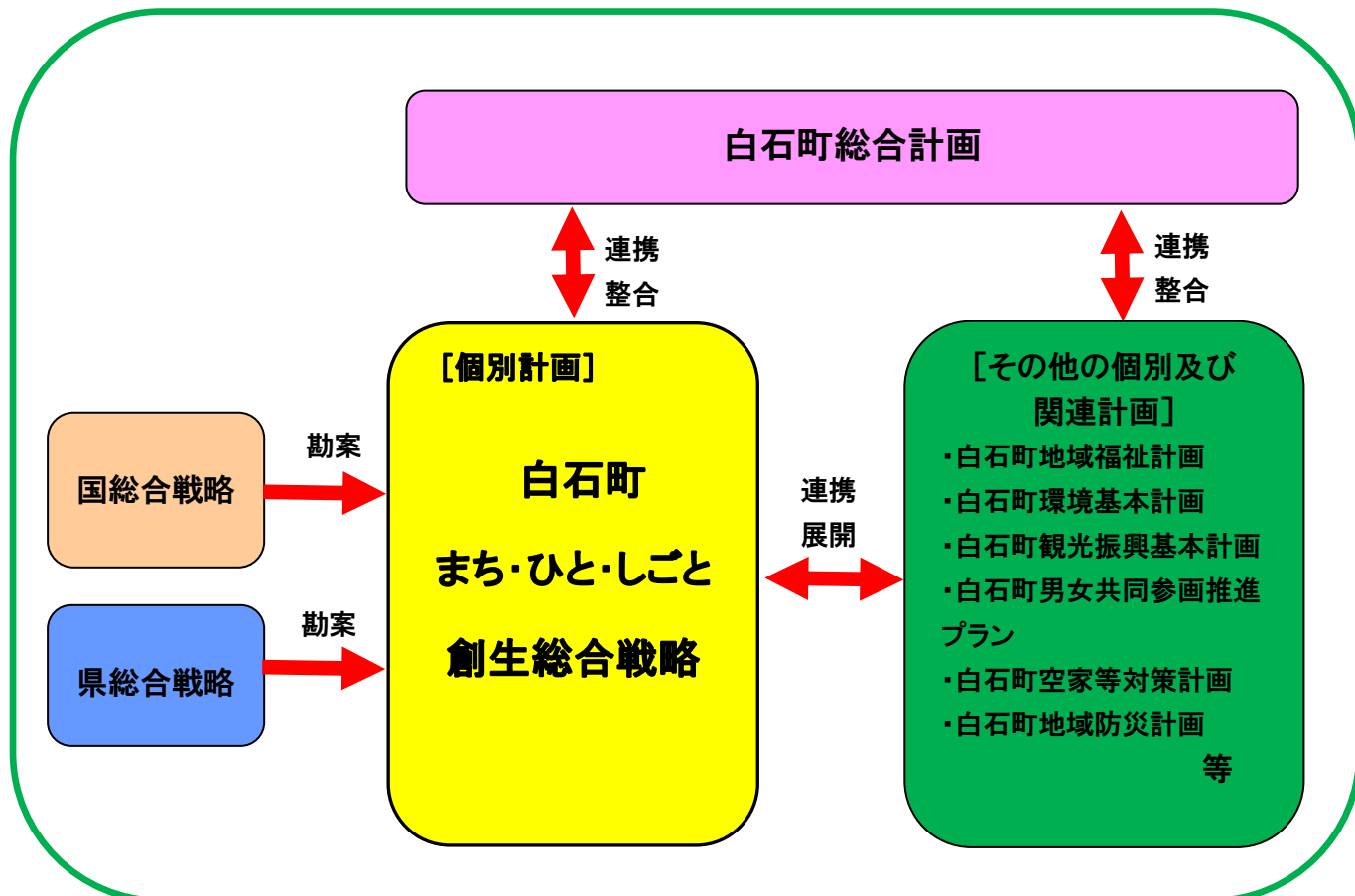
1 趣旨

白石町の人口は、毎年減少を続けており、今後も減少が見込まれています。特に若い世代から選ばれるまちづくりが喫緊の課題です。このため、本町では、まち・ひと・しごと創生法第10条の規定に基づき、白石町人口ビジョンにおける人口の将来展望等を踏まえ、平成27年度～令和元年度までを第1期、令和2年度～令和6年度までを第2期とした白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少が地域経済を縮小させ、さらに人口減少を加速させる負のスパイラル(悪循環の連鎖)の克服と地方創生に取り組んできました。

これまでの取組により一定の成果は出てきているものの、全体的には過疎化や地域産業の衰退に歯止めがかかっておらず、引き続き息の長い取り組みが必要です。

そのため、国におけるデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案して、令和7年度からの第3期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、夢や希望を持って暮らせる社会、個性豊かで多様な人材の確保、多様な就業の機会の創出を目指して更なる地方創生の動きを加速させていきます。

また、この白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、白石町総合計画の人口問題等に関する個別計画として位置付け、その他の個別及び関連計画との連携を図りながら取り組みます。



2 総合戦略の計画期間

総合戦略の対象期間は、令和7年度(2025年度)～令和10年度(2028年度)の4年間とします。

3 総合戦略の検証・改善・改訂

総合戦略の効果検証及び改善については、基本目標の数値目標や具体的施策に係るKPI(重要業績評価指標)の達成度による検証・改善を重ねる仕組み、PDCA(Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善))サイクルを確立し、適切に管理していきます。

また、効果的な施策の追加が必要な場合などは、柔軟かつ積極的に対応するため、年度中途であっても改訂していきます。

※KPI

「Key Performance Indicator」の略。重要業績評価指標。各事業の目標達成度合いを測る指標となるもの。

●施策追加の例

- ・国、佐賀県、近隣市町及び関係機関との連携事業
- ・法制度の新設等による地方創生関連補助事業等
- ・町民協働による効果的な取組
- ・国が進める「小さな拠点」の形成(集落生活圏の維持)

4 総合戦略の体系図

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、以下の4つの基本目標を設定し、その具体的な施策に取り組むことで、白石町人口ビジョンの将来展望の達成に努めます。

白石町人口ビジョン

I 人口の分析

- ・本町の総人口は今後も減少を続ける。
- ・人口流出が止まらないと今後は加速度的に人口減少が進む。

II 人口の将来展望

- ・人口減少を悲観せずに、様々な施策により人口減少のスピードを抑える。
- ・毎年 100 人の人口減少を取り戻すことを目指し、目標人口を令和 12 年(2030 年)には 19,513 人、令和 47 年(2065 年)には 11,791 人とする。



第3期

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

基本目標①

白石に仕事をつくる

基本目標②

ひとの流れをつくる

基本目標③

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④

魅力的な地域をつくる



国によるデジタル実装の基礎条件整備

- ①デジタル基盤の整備
- ②デジタル人材の育成・確保
- ③誰一人取り残さないための取組

Ⅱ 第2期の検証結果・評価及び第3期での改善点等

基本目標①

本気！やる気！元気！しろいし！
～若者が安心して働ける場をつくる～

1 企業誘致や起業等による雇用の確保

KPIの達成がなく、具体的な施策の多くがKPIに有効であったとはいえないという評価がある一方、企業誘致等時間を要する事業との評価でした。第3期については新たなKPIを設定し、施策の見直し、その達成に向けた事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
出店数	5年間で3店	4年間で1店
企業を誘致するための候補地確保	5年間で1カ所	4年間で0カ所

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
働く人たちにやさしい空間づくり	進捗していない・継続	有効であったとはいえない
企業誘致するための候補地確保	進捗していない・変更	有効であったとはいえない

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保

KPIの数値は達成していませんが、農業従事者の高齢化、後継者不足を受け、新規就農者や後継者への支援、就農及び移住を目的とした首都圏等からの就農希望者を受け入れる「しろいし農業塾」などに取り組み、一定の成果がありました。継続的な取組や成功例を作ることが必要という評価を踏まえ、第3期についても引き続き事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
新規農業従事者数	5年間で125人	4年間で87人
しろいし農業塾卒業者の農業従事者数	5年間で15人	4年間で3人
農業従事者(被雇用者)数	5年間で25人	4年間で5人

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
新規就農者の確保及び支援	進捗している・継続	有効であった
しろいし農業塾	進捗している・継続	有効であった
農業従事者(被雇用者)確保対策	進捗している・継続	有効であった

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

KPIの数値を達成できました。今後の課題として、創業者の現況把握や農産物の情報宣伝、販路拡大が必要との評価でした。第3期についてはKPIの見直しを含め、事業を継続していきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
起業・創業者数	5年間で3人	4年間で25人
璃の香作付農家数	5年間で3戸	4年間で44戸

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
白石町創業者支援制度	進捗している・継続	有効であった
新規農産物の作付け拡大	進捗している・更に発展	有効であった
商工業者などへの支援	進捗している・継続	有効であった

4 ふるさとで活躍する人材の育成

KPIの数値に対し一定の成果がありました。第3期についても引き続き、企業や大学、高等学校等との連携に継続して取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
企業等と学校が連携する取り組みの数	5年間で20回	4年間で14回

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
“ふるさと学”の推進	進捗している・継続	有効であった
地元定着の促進	進捗している・継続	有効であった

基本目標②

来たか！住みたか！よかところ！しろいし！
～白石への新しいひとの流れをつくる～

1 白石町の魅力発信

KPIの数値を達成できました。道の駅の情報発信コーナーやSNSの有効活用、テレビやラジオなどメディアを使った情報発信により一定の成果がありました。第3期ではさらに発展させるため新たなKPIを設定し、施策の見直し、その達成に向けた事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
町ホームページアクセス数	令和元年 440,000件／年 ↓ 令和6年 528,000件／年	令和5年 643,330件／年

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
道の駅運営支援	一定の進捗・更に発展	有効であった
がばいよかところ発信事業	一定の進捗・見直し	有効であった
関係人口の拡大	進捗している・継続	有効であった

2 定住促進、移住支援

KPIの数値を達成できた取組みがあった一方で、進捗がなかった施策もありました。第3期は新たなKPIを設定し、施策の継続、その達成に向けた事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
空き家・空き地バンク登録件数	5年間で40件	4年間で50件
移住・定住者数	5年間で650人	4年間で203人

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
空き家・空き地バンク、お試し移住	一定の進捗・継続	有効であった
JR通学者・通勤者の利便性向上	進捗している・継続	有効であった
生活排水処理施設の整備の促進	一定の進捗・継続	有効であった
住宅取得者への支援	進捗している・継続	有効であった
移住者への支援	一定の進捗・継続	有効であった

3 地域観光資源の再発見

KPIの数値を達成できた一方で、進捗がなかった施策もありました。観光イベントに町内外から多くの来訪者があり一定の成果がありました。第3期は更に発展させるため新たなKPIを設定し、施策の見直し、その達成に向けた事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
観光入込客数	令和元年 351,465人／年 ↓ 令和6年 386,600人／年	令和5年 1,167,353人／年
観光ルート数	5年間で3本	合計9本(R5年度時点)

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
多様な観光体験の充実	進捗している・継続	有効であった
文化財の再発見	一定の進捗・継続	有効であった
交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	進捗していない・見直し	有効であったとはいえない
白石町観光振興基本計画による事業の実施	一定の進捗・継続	有効であった

基本目標③

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

1 結婚推進対策の充実

KPIの数値は達成していませんが、継続していくことで定着が図れるとの評価がありました。第3期はKPIを見直し、その達成と事業の定着に向けて引き続き取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
成婚数	5年間で160組	4年間で54組

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
婚活サポート事業の拡充	一定の進捗・継続	有効であった
結婚新生活支援	進捗している・継続	有効であった

2 出産支援

第3期では新たなKPIの設定、施策の見直し、その達成に向けた事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
合計特殊出生率	1.41(H30)→1.50(R6)	1.49(R5)

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
不妊治療制度の拡充	一定の進捗・見直し	有効であった
多子世帯への助成	進捗している・継続	有効であった

3 子育て支援

KPIの数値は達成していませんが、多数は有効であったとの評価でした。第3期は新たなKPIを設定し、施策の継続、その達成に向けて引き続き事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)	41%(R1)→45%(R6)	43%(R5)
子育ての感じ方満足割合(小学生親)	35%(R1)→40%(R6)	36%(R5)

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
病児・病後児保育の実施	進捗している・継続	有効であった
一次預かり事業等の充実	進捗している・継続	有効であった
子育て支援の情報発信強化	進捗している・継続	有効であった
子育てに関するワンストップ相談体制の整備	進捗している・更に発展	有効であった
公園施設の充実	進捗していない・継続	有効であった
切れ目のない子育て支援の充実	進捗している・継続	有効であった

4 教育環境の整備

新設中学校が開校しました。第3期は小学校再編整備、魅力的な教育環境整備に向けて、引き続き事業に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
コミュニティ・スクールの導入・継続	町内全小中学校	町内全小中学校
教育環境の整備	町内全小中学校	町内全中学校

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
教育環境の整備	進捗している・継続	有効であった
コミュニティ・スクールの導入・継続	進捗している・継続	有効であった

基本目標④

つながる！温もる！かがやく！しろいし！
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

1 町民協働によるまちづくり

2地区で地域づくり協議会が、生活環境など地域の問題を地域住民が主体となり解決するため設立されました。第3期は設立後の活動支援やフォローアップ、新地区での設立に向けた準備委員会の取組支援を行います。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
地域づくり協議会の設立数	5年間で8カ所	4年間で2カ所
NPO法人の設立数	5年間で3件	4年間で2件

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
地域づくり協議会の設立支援	進捗している・継続	有効であった
NPO法人・CSO活動の支援	進捗している・継続	有効であった

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

第3期では新たなKPIの設定と見直し、その達成に向けて引き続き事業に取り組めます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
自主防災組織の組織率	5年後に100%	44.9%(27組織)

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
自主防災組織の組織化推進	進捗している・継続	有効であった
「自然災害に備える」・「快適に暮らす」住まいづくり	一定の進捗・継続	有効であった

3 誰もが活躍できるまちづくり

KPIの数値は達成していませんが、多数は有効であったとの評価でした。第3期では新たなKPIを設定し、施策の見直し、その達成に向けて事業に取り組めます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
健康体操サロン数	29カ所(R2)→35カ所(R6)	29カ所
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に120人	107人

【第2期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
生涯現役としての活躍推進	一定の進捗・継続	有効であった
女性活躍の推進	進捗している・更に発展	有効であった
地域団体によるつながり強化	進捗している・見直し	有効であった

Ⅲ 第3期の基本目標、基本的方向、具体的な施策

まずは、町民の方に白石町は住みよいまちと思っていただけることが、将来的な移住や定住、関係人口の増加につながると考え、町の現状や実態を踏まえた施策に取り組めます。

各基本目標における数値目標や重要業績評価指標(KPI)は、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な施策の実行により達成すべき目標を記載しています。

したがって、民間企業や個人による雇用など、町で把握できないものは対象外としています。

4つの基本目標

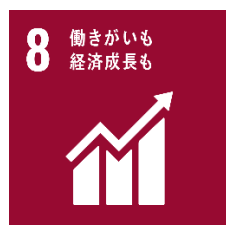
- ① 白石に仕事をつくる
- ② ひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる



基本目標①

白石に仕事をつくる

(1) 目指す SDGs



(2) 数値目標

対象項目	数値目標
地域おこし協力隊隊員採用数	4年間で5人
企業誘致	4年間で2社

(3) 現状と課題

- 本町では、就職・進学をきっかけに多くの若者が町から出ていかれます。次代を担う若者の流出は白石町にとって大きな痛手となるため、魅力のある職業、安定した収入など安心して働ける場をつくり出す必要があります。
- 全国的に人手不足の状況にあり、DX化の推進や労働力の確保が課題となっています。
- 地域課題や地域資源の可能性に着目して、本町が必要とする職種や人材像をまとめ、発信していく必要があります。
- 白石高校、佐賀農業高校では、それぞれ地域探求学習に取り組まれており、高校との更なる連携強化が求められています。

(4) めざすべき方向

- 地域おこし協力隊を採用し、地域活性化の仕事へのチャレンジを支援します。
- “農業のまち”の魅力を引き出していきます。
- 高校や大学と連携し、地元定着につながる活動に取り組みます。
- 雇用の確保のため、企業誘致の推進に取り組みます。
- 白石町の既存企業を育成・支援し、また、新しく起業することへのチャレンジや出店を支援します。
- 農業支援体制を強化し新規就農者や農業従事者の育成・確保を目指します。

(5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 企業誘致や起業等による雇用の確保

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
地域おこし協力隊隊員採用数	4年間で5人
出店数	4年間で2店
企業誘致	4年間で2社

【具体的な施策】	内容
(1) 地域活性化の仕事へのチャレンジ支援	地域おこし支援や地域協力活動を行う地域おこし協力隊を受け入れていきます。
(2) 働く人たちの空間づくり	主要道路沿いや商店街の空き店舗を活用した出店や起業を推進し、女性や若者の働く場の創出を図ります。
(3) 企業誘致の推進	県と連携を図りながら、初期投資や運営面での支援策、便利な交通アクセス、災害の少なさなど、本町の強みを活かして、企業誘致を積極的に推進します。

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
新規農業従事者数	4年間で80人
しろいし農業塾卒業者の農業従事者数	4年間で12人

【具体的な施策】	内容
(1)新規就農者の確保及び支援	新規就農者へ本町農業の概要や活用できる補助事業及び制度資金を紹介するとともに、就農を後押しするセミナーの開催、現行新規就農対策の拡充により、就農前の初期投資の負担軽減や就農後は一定期間の助成を行うなど新規就農者や後継者の確保を図ります。同時に関係機関一体となってアドバイスをを行います。
(2)しろいし農業塾	町内でいちご栽培農家として就農及び移住してもらうため、県外から就農希望者を募集し、白石地区いちごトレーニングファームで研修を行い、農業の担い手確保と定住促進へ繋がります。塾生の就農にあたって必要となる住居、農地、施設整備等について、サポートを行います。農業塾卒業生の就農状況については、普及センター、JA及び町が一体となって支援していきます。 ※農業塾生は県外からの移住者が対象

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
起業・創業者数	4年間で20人
「なたね(ナナシキブ)」の面積拡大	令和6年度 8ha ↓ 令和10年度 20ha

【具体的な施策】	内容
(1)白石町創業者支援制度	町内金融機関等の協力を得て、白石町で起業・創業しようとする個人又は中小企業者の成長性の高い事業計画の実現を支援します。
(2)ブランド化農産物の作付け拡大	「璃の香」について、今後生産量の増加が予想される為販路拡大に向けた取り組みを実施していきます。また、菜種油の原料となる「なたね(ナナシキブ)」についても作付拡大を図り、白石町産だけで搾油ができる面積拡大を目指します。この2品種をブランド化農産物と位置付け、推進を行います。
(3)商工業者などへの支援	新商品や新製品の開発、新たな販売促進及びインバウンド対策等に取り組む人への支援を行います。

4 ふるさとで活躍する人材の育成

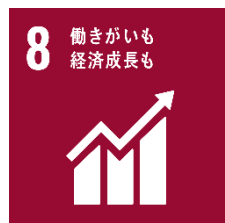
【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
企業・CSO・町等と学校が連携する取組みの数	4年間で20回

【具体的な施策】	内容
(1)“ふるさと学”の推進	町内外の教育機関や企業等との連携を含め、町内小中学校での農業を始めとした各種地場産業、地域の地理歴史及び文化の理解を深め、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらい、将来のUターンにつなげていきます。
(2)地元定着の促進	大学、高等学校及び企業等と連携し、若年者の地元定着、郷土愛の醸成、起業意欲の醸成を図る取組を行います。

基本目標②

ひとの流れをつくる

(1) 目指す SDGs



(2) 数値目標

対象項目	数値目標
観光入込客数	令和6年度 893,000人／年 ↓ 令和10年度 1,070,000人／年
移住・定住者数	4年間で450人

※観光入込客数・・・地域を訪れた来訪客のこと。

(3) 現状と課題

- 地域資源のブランディングや新たな価値の創出による本町の魅力向上が必要です。
- 伝統料理や農業など様々な分野で継承が難しくなっています。
- 首都圏等からの地方移住者の自治体間での獲得競争が激しくなっています。近隣の自治体で人口を奪い合っても根本的解決には繋がらないという面がある一方で、本町は近隣自治体に人口が流出している現状があります。
- 本町と何らかの関わりのある方たちに地域と多様に関わっていただき、関係人口を拡大していくことは有効な手段です。
- 町内では、空き家や空き地が増加しています。
- 物価高騰が続いており、住宅取得に対する支援は移住定住の後押しになります。
- 地域経済の発展には、道の駅らしいしから町内の名所旧跡や飲食店等への人の流れを作り出すことが求められます。
- 観光地では、清潔で快適に休憩できる場が求められます。

(4) めざすべき方向

- 町民のシビックプライドの高まりを目指して、町の魅力や情報発信を行います。
- 昔なじみの味や懐かしい味を含む特産品について、情報発信を行います。
- 道の駅らしいしを拠点とした特産物PRに加えて、催事等に積極的に参加していきます。
- 地域資源の有効活用により人の流れをつくり、町内の経済活性化を図ります。
- 空き家・空き地を活用し、移住者が住みやすい受け入れ態勢をつくります。

- 若者や子育て世帯等に対する住宅取得支援や、首都圏や県外からの移住者への支援を継続していきます。
- 須古城跡の国史跡化に向けた取り組みを行い、遺跡を観光資源として活用していきます。
- 観光地でのトイレなど、清潔で快適に休憩できる場の整備を目指します。

（５）具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 白石町の魅力発信

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
道の駅来場者数	令和6年度 760,000人/年 ↓ 令和10年度 910,000人/年
町外催事への参加回数	令和6年度 5回 → 令和10年度 10回
町公式LINE登録者数	令和5年度末 800人 ↓ 令和10年度末 2,000人
在京ふるさと会SNS会員数	令和10年度で300人

【具体的な施策】	内容
(1)道の駅運営支援	町の農水産物・6次産品や観光等の情報発信の拠点として運営の支援を行います。
(2)特産物等に関する情報発信	特産物等の情報発信を通じて、町を知ってもらい、ファンの確保や交流・移住人口につながる町のPR活動を行います。
(3)町民に向けた町の魅力発信	広報戦略にもとづき、町公式LINE等SNSにより町民へ向けて本町のブランドメッセージやブランドロゴ等を使い、町の魅力や情報を発信することにより、シビックプライドの醸成を行い町民に町への愛着や誇りを感じていただくことで転出者の減少を図ります。

(4)在京ふるさと会との連携強化	本町の出身者などと継続的に関わっていき、町の魅力発信や都市部との交流などにつながる取組を行います。
------------------	---

2 定住促進、移住支援

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
空き家・空き地バンク登録件数	4年間で60件
浄化槽設置数	4年間で180基
移住・定住者数	4年間で450人

【具体的な施策】	内容
(1)空き家・空き地バンクを活用した支援	空き家・空き地バンク制度を継続し、移住定住の促進、空き家の有効利用を図ります。
(2)JR通学者・通勤者の利便性向上	通学者・通勤者の町内JR駅利用を促進するため、駅周辺を整備します。
(3)生活排水処理施設の整備の促進	特定環境保全公共下水道施設、農業集落排水処理施設及び浄化槽の一体的な整備を行います。
(4)住宅取得者への支援	若者・子育て世帯の住宅取得等を支援し、移住・定住の促進を図ります。
(5)移住者への支援	県外からの移住者に対し支援金を交付し、移住・定住の促進を図ります。

3 地域観光資源の再発見

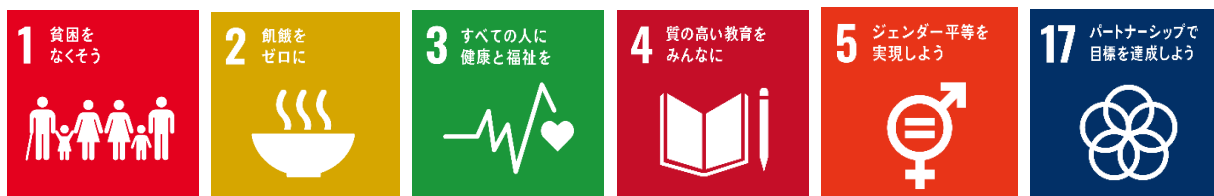
【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
観光入込客数	令和6年度 893,000人／年 ↓ 令和10年度 1,070,000人／年
歴史関連講座開催数・参加者数	歴史関連講座開催数 15回／年 参加者数 400人／年
町ホームページ内観光サイトへのアクセス数	令和6年度 60,000件／年 ↓ 令和10年度 72,000件／年

【具体的な施策】	内容
(1)地域資源の魅力の再発見	地域資源の魅力の再発見及び磨き上げにより、誘客効果を高め、消費促進と認知度向上を図ります。
(2)文化財の再発見	須古城跡の国史跡指定に向けた取り組みを行います。 「遺跡」を観光資源として活用できるよう整備を図ります。
(3)交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	町内に訪れた観光客が、手軽に町内を観光できるような環境を整備します。
(4)中長期的な観光戦略の策定	役場内の関係課及び観光協会と密に連携しながら、町の観光振興の基本となる計画を策定し、白石町の認知度の向上と観光をととした地域活性化に取り組めます。

基本目標③

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 目指す SDGs



(2) 数値目標

対象項目	数値目標
結婚新生活支援組数	4年間で100組
出生数	4年間で440人

(3) 現状と課題

- 核家族化や人口減少、価値観の多様化により本町においても少子化が進行しています。
- 結婚を機に転出する若者が多い状況が続いています。
- 保護者の子育てに対するニーズは多様化し、ひとり親家庭なども増加傾向にある中で、就業・育児環境においても多くの課題があります。
- そのため、若者の出会いをプロデュースし、将来の本町を支える子どもたちを産み育てやすい環境を整備することが必要です。

(4) めざすべき方向

- 子どもの個性を最大限に発揮し、次世代を担う人材の育成のため、小学校の再編整備を行い特色のある教育環境を整えていきます。
- 新婚世帯や子育て世帯から選ばれるまちづくりを展開していきます。
- 結婚を希望する男女には出会いの場を、また、希望する子どもの数を実現できるサービスや子育て支援など、安心して出産・子育てができる環境を整備します。
- 定住促進対策と組み合わせた少子化対策と子育て支援、仕事と育児の両立支援など若い世代の結婚・子育てに対する希望の実現を目指します。
- 子育ての悩みを1人で抱え込まず、相談・共有できる環境や、出産から子どもが就職するまで切れ目のない支援の実現を目指します。

（５）具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 結婚推進対策の充実

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
婚活イベントの実施回数	4年間で40回
結婚新生活支援組数	4年間で100組

【具体的な施策】	内容
(1)婚活サポート事業の拡充	婚活サポーターによる取組に加え、婚活事業に関連する民間企業や個人との連携、イベントや他の市町村との連携など多様な取組を行っていきます。
(2)結婚新生活支援	結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用を支援します。

2 出産支援

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
出生数	4年間で440人

【具体的な施策】	内容
(1)多子世帯への助成	町独自軽減策である、3人目以降の保育料の30%軽減を継続していきます。
(2)育児支援券のプレゼント	子育てを応援しているという町の気持ちをギフト券プレゼントをすることで伝えていきます。

3 子育て支援

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)	令和6年度 43% ↓ 令和10年度 45%
子育ての感じ方満足割合(小学生親)	令和6年度 36% ↓ 令和10年度 40%
母子手帳アプリ登録者男性割合	令和6年度 3% ↓ 令和10年度 10%
子ども家庭センターの設置	令和6年度 0カ所 ↓ 令和10年度 1カ所

【具体的な施策】	内容
(1)病児・病後児保育の実施	病児・病後児保育の実施に向け利用可能施設の周知に努め、保護者の負担軽減を図ります。
(2)一時預かり事業等の充実	一時預かり事業と育児サロン事業を充実します。
(3)子育て支援の情報発信強化	町内で実施されている子育て支援事業等の情報を集約し発信することで、白石町の魅力を伝えとともに、子育て世代の不安の軽減を目指します。
(4)子育てに関するワンストップ相談体制の整備	令和2年1月設置の子育て世代包括支援センター、令和4年に子ども家庭総合支援拠点を保健福祉課内に設置し相談支援体制を強化しています。令和8年度までにはこの双方の機能を担う「子ども家庭センター」を設置しワンストップの相談体制を整備します。
(5)公園施設の充実	白石中央公園、福富マイランド公園、有明スカイパークふれあい郷などの主要公園で、子育て世代の意見を採り入れて、もっと子どもが遊びやすく、他市町村からも人が集まるような魅力のある公園整備を行います。

(6)切れ目のない子育て支援の実施	町内のすべての子どもとその家庭を対象に妊娠期から子育て期にわたり、子育て支援機関や医療・福祉の専門機関と連携し、継続的に支援をしていきます。
-------------------	--

4 教育環境の整備

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
コミュニティ・スクールの導入・継続	町内全小中学校

【具体的な施策】	内容
(1)教育環境の整備	教育環境を向上させるため、中学校に引き続き小学校の再編整備を行います。
(2)コミュニティ・スクールの導入・継続	再編による新たな小学校へのコミュニティ・スクールの導入及び既存のコミュニティ・スクールの事業を継続し内容の充実を図ります。

※コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みのこと。

基本目標④

魅力的な地域をつくる

(1) 目指す SDGs



(2) 数値目標

対象項目	数値目標
地域づくり協議会の設立数	令和6年度 2カ所 ↓ 令和10年度 6カ所

(3) 現状と課題

- 急激な人口減少や高齢化に伴い、地域において、担い手不足や伝統文化の継承ができていないなど、様々な課題が出てきています。
- 地域の課題は多種多様で、それぞれが知恵を絞って解決していくことが望まれています。
- 地域にはキーパーソンとなるべき人材が埋もれています。
- 地域の活力を取り戻すためには、地域の誰もが活躍できる社会を実現することが必要です。

(4) めざすべき方向

- 町民協働によるまちづくりとして、地域住民が主体となって地域活性化や課題解決に取り組むため、地域づくり協議会の設立・運営を支援します。
- 地域の各団体やまちづくり団体等とともに地域を盛り上げていきます。
- 頻発する自然災害に備えるため、地域の自主的な組織づくりを推進します。
- 地域の人々が持つ豊富な経験・知識・文化を後世に継承していくとともに、誰もが生き生きと活躍できる社会を目指します。
- 男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会づくりを目指します。

（５）具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 町民協働によるまちづくり

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
地域づくり協議会の設立数	令和6年度 2カ所 ↓ 令和10年度 6カ所
地域づくり団体設立・活動支援事業の活用件数	4年間で20件

【具体的な施策】	内容
(1)地域づくり協議会の設立支援	生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する地域づくり協議会の設立を支援します。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促します。
(2)NPO法人・CSO活動の支援	NPO法人やCSO活動の設立や活動支援を行うことにより、行政では行き届かないまちづくりや福祉サービスなどの担い手として協働していきます。

※CSO

「Civil Society Organization」(市民社会組織)の略で、NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTA などのこと。

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
自主防災組織の組織率	令和5年度 44.9% ↓ 令和10年度 70%
住宅浸水対策事業補助件数	4年間で8件

※自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織。

【具体的な施策】	内容
(1)自主防災組織の組織化推進	自主防災組織の設立により、自助・共助の取組を推進します。
(2)「自然災害に備える」・「快適に暮らす」住まいづくり	頻発する風水害や地震などの自然災害へ備える住宅づくりを推進します。 既存住宅の機能向上やバリアフリー化などへの支援を継続、または、検討します。

3 誰もが活躍できるまちづくり

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
健康体操サロン数	令和6年度 30カ所 ↓ 令和10年度 35カ所
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に112人
生涯学習講座開催数	20回／年 → 25回／年
審議会・委員会における女性委員の割合	令和10年度に40%

【具体的な施策】	内容
(1)生涯現役としての活躍促進	高齢者の住み慣れた地域、家庭での安心した暮らしを支える「支え合い」の地域づくり。高齢者が生きがいを持って充実した生活ができるよう、知識や経験、能力などを活かし、地域活動に参加できる環境づくり。高齢者が自分らしく暮らし続けるための健康づくりや介護予防事業など、高齢者のやりがい、居場所づくりの事業や支援を促進します。 高齢者と区切ることなく誰もが年齢に関わらず活躍し、地域を盛り上げてもらうために、起業・創業、文化活動、自分のやりたい仕事ができる場所づくりなどを促進します。
(2)女性活躍の推進	政策の決定過程など様々なまちづくりに対する女性の参画を促すとともに、女性団体の設立やネットワークづくりを支援します。
(3)スポーツ・健康増進のまち宣言の推進	スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のある町を目指します。



第3期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行：白石町

編集：白石町役場 総合戦略課白石創生推進係

〒849-1192

佐賀県杵島郡白石町大字福田 1247-1

T E L 0952-84-7132

F A X 0952-84-6611